

柏崎市立博物館友の会 ◆〒945-0841 新潟県柏崎市緑町8-35 赤坂山公園内 TEL 0257-22-0567

博物館モノがたり

漢方薬になった米山のトウキ



米山の里山伏・田邊六右衛門家資料（1階テーマ展示室）



山頂の吉尾のトウキ売り



米山土産のトウキ

えんま
閩魔市の頃になると、かつては家々の戸口に鮮やかな緑の葉が揺らぐのを目にしたものです。米山参りの土産、トウキの茎葉です。カレー粉のような独特の香気があり、これをマチ場では厄病除けの呪いとして玄関先に下げました。一方、農家では作神・米山薬師の御札とともに、竹や葦に結え、稲虫除けとして田んぼの水口に立てたものです。

トウキはセリ科の薬草。その根は古くから婦人病の生薬として珍重されました。いまでも「当帰芍薬散」や「実母散」の主成分です。病気平癒に霊験のある米山薬師に相応しい産物です。

江戸中期の『越後名寄』という文献には「当帰」の項で米山産を絶賛します。

頸城郡米山ニ生。肥大ニテ光沢上品也。気味共ニ厚シ。又、異山ニ在事ヲ不知。凡当国ニ生スル薬品之中、最上トスベシ。

著者・丸山元純は寺泊の医者で、科学的根拠による評価です。

江戸期に米山の里山伏であった田邊六右衛門家(市内・田屋)には役行者像や手錫杖などとともに、「阿蘭陀五香湯」という振出し薬の効能書き版木が伝わります。その薬効は「さんぜんさんご、ちのみち一切」と婦人病全般に及び、明らかにトウキが利用されています。根は生薬の原料とし、茎葉は虫(疫病)除けの呪具にと、まことに無駄のない活用法を当時の修験者たちは実践していたようです。

いまでも古老からは、トウキの葉を衣装櫃や米櫃、さらには便所に下げて虫除けにしたという話も聞けます。トウキの有用性は、信仰や医療のほか、こうした実生活でも確認できるのです。

(渡邊 三四一)

報告

令和6(2024)年度

第1回 友の会合同委員会を開催しました

令和6年5月24日(金)15時30分~17時 参加者:11名

第1回合同委員会では、はじめに令和5年度の事業報告、会計報告、会計監査報告を行いました。4月時点での会員数は140名、通信発行は4回、事業では友の会役員や博物館職員等の協力を得て19行事を開催し、事業参加者合計数は255名でした。

令和5年度決算は、令和6年4月17日に会計監査委員の藤巻均・箕輪一博両氏が監査を行い、適正であるとの報告がありました。また、令和6年度の行事計画案、予算案、友の会規約修正案について審議を行い、役員全員の承認を得ました。改正した友の会規約は同封いたします。

■令和5年度 一般会計 決算 (単位:円)

収 入	
会費	314,500
事業参加費	968,150
会議費(合同委員会会費)	49,000
ミュージアムショップ売上	659,620
繰入金	0
前年度繰越金	585,927
雑収入	570
計	2,577,767

支 出	
報償費(講師・協力者謝礼)	68,000
委託費(売店商品買受代、一泊見学会旅行会社委託費)	294,532
消耗品費(諸行事材料費、売店用消耗品、発送用封筒代)	101,360
食糧費(日帰り旅行昼食代、行事材料費)	89,900
印刷製本費(通信印刷代250部×5回)	220,000
通信運搬費(通信郵送代、会費納入通知書送付代ほか)	75,933
使用料(施設入館料、宿泊料、施設使用料)	336,410
保険料(賠償責任保険、傷害保険契約、次年度分保険料前払)	29,300
負担金(常設展・プラネタ補助)	27,940
手数料(振込手数料、会費振込手数料)	29,767
会議費(第1回合同委員会お茶代、懇親会料理代)	56,056
賃借料(博物館売店区域借上げ、バス借上げ)	224,056
受託販売(受託販売業者へ支払)	587,525
備品購入(フィールドスコープ代)	40,395
雑費(葬式生花代、見学お礼お菓子代ほか)	34,264
予備費	0
特別事業積立金(特別事業会計へ)	20,000
次年度繰越金	342,329
計	2,577,767

■令和5年度 特別事業会計 決算

収 入	
前年度繰越金	899,000
(一般会計から)繰入金	20,000
計	919,000
収 入	
(一般会計への)繰出金	0
※一般会計への繰越金はありません。	
計	0

■令和6年度 一般会計 予算 (単位:円)

収 入	
前年度繰越金	342,329
会費	246,350
事業参加費	1,466,500
会議費(合同委員会会費)	150,000
ミュージアムショップ売上	600,000
繰入金(特別事業会計より)	100,000
雑収入	821
計	2,906,000

支 出	
報償費(講師・協力者謝礼)	90,000
委託費(1泊見学会委託費、売店クリアファイル等増刷分)	450,000
消耗品費(諸行事材料費、売店消耗品費)	130,000
食糧費(行事昼食代)	230,000
印刷製本費(通信印刷代250部×4回)	220,000
通信運搬費(通信郵送代、郵送通知料金、切手代)	100,000
使用料(施設使用料、1泊見学会宿泊費)	450,000
保険料(賠償責任保険)	30,000
負担金(招待券300円×150人)	45,000
手数料(振込手数料、会費振込手数料)	40,000
会議費(5,000円×15名×2回、お茶代)	155,000
賃借料(博物館売店区域借上げ、バス借上げ)	360,000
受託販売(受託販売業者支払)	500,000
備品購入	0
雑費(訪問先菓子代)	20,000
予備費	66,000
特別事業積立金(特別事業会計へ)	20,000
計	2,906,000

■令和6年度 特別事業会計 予算

収 入	
前年度繰越金	919,000
(一般会計から)繰入金	20,000
計	939,000
収 入	
(一般会計への)繰出金(売店クリアファイル等増刷分)	100,000
予備費	839,000
計	939,000

令和6年度 友の会年間行事スケジュール

第1回合同委員会により、令和6年度の年間行事スケジュールが決定しました。柏崎の自然や歴史を中心に博物館の学芸員や専門の講師の方々と一緒に楽しめる行事です。友の会会員の方も会員でない方もどなたでも参加できますので、お友達やご家族と一緒にぜひご参加ください。詳しい内容やお申込み方法は友の会通信でお知らせしていきます。

回	行事日程	行事内容	集合・解散
1	4月18日(木)	春の山野草めぐり ※受付終了	博物館
2	4月27日(土)	笑う門には 微笑みの木喰仏めぐり —長岡・小千谷編— ※受付終了	夢の森公園駐車場
3	5月10日(金)	旧長岡街道 西山妙法寺街道(沖見峠)を歩く ※受付終了	アルフォーレ駐車場
4	5月17日(金)	深緑の森でバードウォッチング ※受付終了	現 地
5	5月25日(土)	学芸員のオタク講座⑦中世のおかね —一括出土銭から考える— ※受付終了	博物館
6	6月8日(土)	秘境・秋山郷の大地と歴史を歩く —苗場山麓ジオパークめぐり— ※受付終了	アルフォーレ駐車場
7	6月22日(土)	学芸員のオタク講座⑧ 縄文人の祈りのかたち ※受付終了	博物館
8	7月27日(土)	探訪!となりの博物館①—新潟・湊町編— 北前船で栄えた湊町めぐり	アルフォーレ駐車場
9	8月31日(土)	学芸員のオタク講座⑨	博物館
10	9月1日(日)	探訪!となりの博物館②—糸魚川編— 木地屋とヒスイ峡とおててご舞	アルフォーレ駐車場
11	9月28日(土)	学芸員のオタク講座⑩	博物館
12	10月23日(水)	渚の宝もの① 秋のビーチコーミング	現 地
13	11月1日(金) ～2日(土)	美味巡礼 御食国(みけつくに)・若狭小浜の旅 —北前船と鯖街道で栄えた歴史と文化—	アルフォーレ駐車場
14	11月中旬	和紙のはがきづくり	博物館
15	12月初旬	学芸員のオタク講座⑪	博物館
16	12月下旬	八丁紙づくり	博物館
17	1月下旬	シュロの手籠づくり	博物館
18	2月下旬	そば打ち道場	剣野コミュニティセンター
19	3月初旬	渚の宝もの② 漂着物でオブジェづくり	博物館
20	3月中旬	季節の和菓子づくり	剣野コミュニティセンター

令和6年度 友の会役員

会長	籠島 浩恵
副会長兼編集委員	田村 光一
副会長兼行事委員	村田 千代子
会計監査兼編集委員	藤巻 均
会計監査兼行事委員	箕輪 一博
行事委員	井貝 征人
行事委員	井倉 香
行事委員	宮路 さつき
編集委員	今井 榮子
編集委員	中村 由紀子

お知らせ

博物館ボランティアガイド募集

同封しました別紙チラシのとおり、博物館友の会会員を対象に新たにボランティアガイドを募集します。常設展示や企画展の研修・解説をはじめ、他館視察や現地学習も計画しています。興味を持たれた方は、ぜひご参加ください。

友の会行事報告

渚の宝もの② ビーチグラスのオブジェづくり 3月6日(水)9時~12時 参加者16名



光を通す貝やビーチグラスなどを使って足元を灯すフットライトを、宮路さつきさんをはじめ渚を楽しむ会の方々に教えていただきながら作りました。ひとつとして同じ形のないビーチグラスは、使う大きさや色、配置の角度を少し変えるだけでも作品の雰囲気が変わります。参加者の皆さんは各々が完成のイメージを膨らませて、好みの形のものを吟味して選んでいきます。耐久性



はあるか、ハンダ付けが満遍なくされているかななどのチェックを挟みながら、どんどん作業を進めていき、全員が個性豊かな作品を完成させることができました。その



ままでも十分素敵な作品ですが、ランプを灯してみると綺麗な色がふわっと浮かび上がって、命が宿ったかのように。歓喜の声があがりました。

田村光一さんのそば打ち道場

3月21日(木)9時~12時 参加者12名

はやる気持ちをなだめつつ、いざそば打ちへ。講師の田村光一さんのデモ打ちから始まり、3人1組で前半開始。比角そば打ち同好会の方々にもついて頂き順調に進むはずでしたが、指の使い方、水まわしで苦戦、乾燥し始め粉がまとまらない。そこに講師の方の手が入ると一気に好転。なかなか手ごわい相手に手こずりながら後半へ。のし棒を巧みに操り、丸くのばし次に四角へ、厚さに気をつけてと。あらら？ どうした？ 私の手。のし棒転がりませんけど。猫の手はできている。でもそこは他のメンバーさんと講師の方の尽力により切りの作業へ。のし棒より包丁とは気が合った様で、ちょっと太めの麺もご愛嬌。おそばはコシが強く絶品でした。お世話になりました。
(会員 湯本恵子)



春の山野草めぐり

4月18日(木)9時30分~11時 参加者7名

令和6年度の第1回目行事は、夢の森公園で春の山野草めぐりです。講師の布施公幹先生は、植物観察のため月に何度も夢の森公園を訪れるそうで、植物がそれぞれの場所にあるのかを熟知されています。大池やカキツバタの水辺周辺を歩くと、春の暖かさを喜ぶように花を咲かせたサワオグルマやミツバツチグリなど、沢山の山野草たちを見ることができ、名前の由来や特徴などを先生が教えてくださいました。田んぼ横にあるアリアケスミレの群生地は草刈りがされた後だったものの、運良くいくつか残っており、白地の花びらに紫色のスジが入っている様子を観察することができました。参加者からは「ウリハダカエデの雌株を近くから見られてよかった」「種類がたくさんさんのスマイレがきれいでした」などの感想がありました。



笑う門には 微笑みの木喰仏めぐり ―長岡・小千谷編―

4月27日(土)8時30分～16時 参加者19名

今回は3つの見学地で木喰仏を鑑賞しました。小国町の真福寺では、木喰仏の中では最大の大きさになる仁王尊像があり、参加者の皆さんもその大きさに驚いていました。お昼にお蕎麦を堪能した後は小千谷闘牛場前にて迫力ある牛たちにお出迎えをしてもらい、その奥にある小栗山木喰観音堂にて、優しく微笑む木喰仏群を間近にゆっくりと鑑賞することができました。長岡市の上前島金毘羅堂には、地域の子供たちが当時ソリにして遊んでいたため顔がつるつるに削れた自刻像があり、人を喜ばせたいと願い、人々の暮らしに寄り添う木喰上人の優しい人柄を感じ取ることができました。帰り際には木喰仏を1人ずつ抱きかかえさせていただき、木喰上人からの優しい力をいただいたような気持ちになりました。参加者からは「それぞれの場所で木喰上人の生き様が現れて豊かな個性が見えました」「親切な温かい説明はまるで木喰上人がそこにいるようで、幸せな時間を過ごせました」といった声がありました。



小国・真福寺の仁王門



小栗山木喰観音堂



上前島の金毘羅堂

旧長岡街道 西山妙法寺街道(沖見峠)を歩く 5月10日(金)9時～12時 参加者16名



旧道を行く



沖見峠の地藏尊前

長岡街道の宿場などとして栄え、曾地峠の開通によって変わってしまった妙法寺。集落の歴史を聞いた後、六地藏や庚申塔を見て献上場から山道を登って行く。天明の地藏尊や沖見峠解説板のある所に到着。年表を見るとこの峠を越えた人々の名前が書かれてあって、良寛も貞心尼もこの峠を往来した事や良寛がここをすばらしい所と言って詠んだと言われる「霞たつおきみ峠の岩つつじ 誰がおりそめしからにしきかも」の一首も書かれていた。「やっとこのうたに出逢えた」と思いながら沖見峠の標柱をめざし歩き始める。イノシシが掘りおこした大きな穴が標柱の真下まであった。そこからは米山や後ろの雪山もよく見えた。今回岩つつじは見る事が出来なかったけれど案内して下さった学芸員の皆様に感謝します。(編集委員 中村由紀子)



沖見峠にて集合写真

新緑の森でバードウォッチング

5月17日(金)8時30分～11時 参加者6名

当日8:30、鶴川綾子舞会館前駐車場に集合。いざバードウォッチングへ。しかし、晴天なのにあいにくの強風でさえずりがかき消され、私には苦戦のスタートでした。講師の小林成光さんをはじめ、かしわざき野鳥の会のみな様は、この日20種類のさえずりを聞き分けて説明して下さいからさすがです。(それに鳴きまねもお上手)「焼酎一杯グイー」と鳴くのはセンダイムシクイ。初めて聞く名前です。鳥のなき声を人間にとってききやすい言葉に置き換えることを「ききなし」と言うそうです。市野新田ダムを北にまわり込んだ奥で、確かに“グイー”というさえずりをキャッチ。私は聞き分けられてテンション急上昇。楽しさ倍増です。青空に白い雲、さざ波たつ湖面にカルガモ、遠くに黒姫山という美しい景色も堪能でき、2時間があっという間でした。野鳥の会のみな様、ありがとうございました。(会員 沼岡邦子)



お申込み方法

電話で友の会事務局(0257-22-0567)にお申込みください。

その際、参加者全員のお名前、連絡先(できれば携帯番号)、友の会会員か非会員かをお知らせください。



探訪！となりの博物館①
—新潟・湊町編—
北前船で栄えた湊町めぐり

北前船で栄えた新潟市の下町エリアを散策し、みなとぴあ(新潟市歴史博物館)で開催の「北前船と新潟」展を見学します。

日 時 7月27日(土) 8:00～16:00

集 合 アルフォーレ前駐車場
(赤レンガ風トイレ前)

見学地 日和山住吉神社(方角石)、旧小澤家住宅、金刀比羅神社(木彫難船絵馬)、湊稻荷神社(願掛け狛犬・道楽稲荷)、みなとぴあ企画展「北前船と新潟」見学(解説付き)など

昼 食 港茶屋・魚や片桐寅吉「海鮮丼定食」

定 員 19名(先着順)

参加費 会員7,000円、非会員8,500円

(バス・ガイド料・昼食代含む)

用 意 飲み物、歩きやすい服装、帽子



旧小澤家住宅



願掛け狛犬



探訪！となりの博物館②
—糸魚川編—
木地屋とヒスイ峡とおててこ舞

山深い木地屋の里の国指定民俗文化財を見学し、ヒスイ原石が露出する小滝ヒスイ峡を訪ね、最後に綾子舞の類似芸能「おててこ舞」(根知山寺の延年)を鑑賞(短時間)します。

日 時 9月1日(日) 8:00～16:30

集 合 アルフォーレ前駐車場
(赤レンガ風トイレ前)

見学地 木地屋民俗資料館(糸魚川市大所)、高浪の池・小滝ヒスイ峡・明星山の絶壁、おててこ舞(根知山寺・日吉神社)

昼 食 ヒーリングガーデンたかなみ「たかなみ御膳」(笹寿し・蕎麦・小鉢など)

定 員 19名(先着順)

参加費 会員7,500円、非会員9,000円

(バス・ガイド料・昼食代含む)

用 意 飲み物、歩きやすい服装、帽子



高浪の池



おててこ舞



学芸員のオタク講座⑨
素潜り漁の民具のはなし

柏崎の素潜り漁について、新潟県や各地の様子とも比較しながら、使われる道具を中心に解説します。

日 時 8月31日(土)
13:00～15:00

会 場 博物館小ホール
及び展示室

講 師 池田孝博学芸員

定 員 15名(先着順)

参加費 入館料300円(会員は招待券使用可)



学芸員のオタク講座⑩
刷り物の世界

春季企画展で紹介できなかった資料も追加して、さらに詳しく解説します。木版刷りも体験していただきます。

日 時 9月28日(土)
13:00～15:00

会 場 博物館小ホール

講 師 早川美奈子学芸員

定 員 15名(先着順)

参加費 無料



編集後記

早いもので新年度に入って二か月が過ぎ、この号がお手元に届くころには柏崎の初夏の風物詩「えんま市」も終わっているのかな？友の会では、去る5月24日に合同委員会を開き、新年度の事業や予算が承認されました。皆さんから関心を持っていたく行事にも取り組んでいきたいと思いますのでご期待くださるとともに、新しいお仲間の勧誘もお願いいたします。

(編集委員 富士真樹)